

感染症情報 2月24日～3月1日

府下小児科197医療機関(堺市19)から

①感染性胃腸炎	697例(堺市	38例)
②溶連菌感染症	414例(堺市	56例)
③RSウイルス感染症	65例(堺市	4例)
④水痘	62例(堺市	6例)
⑤咽頭結膜熱	55例(堺市	7例)

府下インフルエンザ定点300医療機関(堺市29)から

インフルエンザ 2,941例(堺市 333例)

が報告された。感染症報告数は前週比24.8%減の1,405件であった。

感染性胃腸炎は府下で前週と比較して30%減、堺市では36%減であった。溶連菌感染症は府下で23%減、堺市で86例→65例の24%減で、定点当たり4.53→2.95であった。RSウイルス感染症は府下で17%減、堺市で6例→4例であった。水痘が府下で5%減、堺市で0例→6例であった。咽頭結膜熱が府下で19%減、堺市で前週・今回とも7例であった。

インフルエンザの2,941例は11%減、定点当たりは10.98→9.80であり、警報レベル終息基準値10を下回った。堺市は333例で6%減、定点当たりは12.21→11.48であった。

新型コロナウイルス対策による全公立小中閉鎖中のため、インフルエンザによる学年閉鎖や学級閉鎖情報の公開は停止されている。

麻疹や風疹の報告はなかった。

いわゆる年長さんが対象の麻疹風疹(MR)ワクチンの第2期は3月31日までであるので、未接種の方は注意されたい。